

大塩の乱と天保の改革.2

名前 解答

解答

- 問1 1837年に、アメリカの商船を打ち払う事件が起きた。この事件を何というか。
 (モリソン号事件)
- 問2 アメリカの商船を打ち払う事件が起きたことに対し、渡辺崋山や高野長英は幕府を批判した。これにより、渡辺崋山や高野長英は厳しい罰を受けた。この事件を何というか。
 (蛮社の獄)
- 問3 1837年、大塩平八郎は、弟子など300人ほどで大商人を襲い、米や金をききんで苦しんでいる人に分けようとした。この事件を何というか。
 (大塩の乱)
- 問4 水野忠邦の行った改革を何というか。
 (天保の改革)
- 問5 三大改革を起こった順に並べよ。
 (享保の改革→寛政の改革→天保の改革)
- 問6 水野忠邦は、物価を低下させるために株仲間の解散を命じたが、この政策は効果がなかった。物価上昇の本当の原因は何だったか。
 (質の悪い貨幣をつくったこと)
- 問7 水野忠邦について述べたものとして誤っているものは次のうちどれか。(D)
- (A) 農村の復興のために、江戸に出稼ぎにきている農民を故郷に帰らせた。
 - (B) アヘン戦争で清がイギリスに敗れたことを知ると、異国船打払令を撤回した。
 - (C) 海防の強化を目指し、江戸や大阪の周辺を幕領にしようとした。
 - (D) 江戸に昌平坂学問所をつくり、有能な人材を取り立てようとした。 ※寛政の改革
- 問8 諸藩では、財政をたてなおすために改革を行い、改革に成功する藩も現れた。改革に成功して経済力や政治力を強くした藩を何というか。
 (雄藩)
- 問9 奄美群島の黒砂糖を専売し、大きな利益を得たのは何藩か。
 (薩摩藩)
- 問10 次の年表の括弧に入る語句を答えよ。

1792年	ロシアの使節(①)が通商を求めて来航。
1804年	ロシアの使節(②)が長崎に来航。
1808年	イギリスの軍艦が長崎の港に侵入する(③)事件が起こる。
1825年	外国船の撃退を命じる(④)が出される。

- (①ラクスマン) (②レザノフ)
- (③フェートン号) (④異国船打払令)

